

町政をたず

問 避難場所について

答 廃止も想定している。他の避難所も順次点検し、一時避難場所等の設置も検討していきたい。



おおかわ きよみつ 大川 清光 議員

答 町長

① 県が整備して町が維持管理している北金ヶ沢防災広場は、国道からも遠く、避難道が狭いうえに傾斜がきついため、もともと避難場所として適しているとは言えない。また、避難所に指定している大戸瀬中学校が近くにあることや、大イチョウの駐車場広場が整備されたことから、県との協議の結果次第では、この避難場所を廃止することも想定している。

② 「その他の避難場所」についても順次点検したい。

③ 町内には、津波や土砂災害

問 大川議員

① 北金ヶ沢防災広場への避難道が分からない状態であるとともに、防護柵も壊れている。早急に改善をすべきではないか。

② その他の避難場所についても、再点検が必要ではないか。

③ 町民の高齢化が進んでおり、避難場所を増やすべきではないか。

等に有効な場所として、41か所の避難所と65か所の避難場所を指定している。今後は、避難場所の周知に努めるとともに、指定避難場所とは別に、高齢者等が一時的に避難する「一時避難場所」等の設置を検討していきたい。



▲国道からの入口



▲途中の案内板



▲北金ヶ沢防災広場

町政をただす

洋上風力発電招致について

問 大川議員

昨年の12月25日に協議会が開催されて以来、町長による洋上風力発電についての発言がなくなりましたが改めて今、洋上風力発電についての考えを伺う。

答 町長

現在、協議が進められている青森県沖日本海（南側）の海域以外でも、技術的なものなどの課題が解消されれば、今後、深浦沖を対象とした浮体式の洋上風力発電の計画が進むものと考えている。

また、脱炭素に向けた地球温暖化対策として、取組を進めるべき課題でもあり、洋上風力発電は地域や漁業振興の観点からも意義あるものと考えている。

漁業者に対する支援策について

問 大川議員

近年、漁獲量の減少、漁獲高の低迷、それに追い打ちをかけるように新型コロナウイルスの影響で魚価の低下が続いており、漁業経営は厳しい状況に直面している。また、漁網を含む漁具の修理、令和4年度には電波利用法の改正により無線機の取替等が余儀なくされることとなることから、今後、ますます経費増が見込まれている。以上のことから漁業者に対する支援策等を考えられないものか町長の考えを伺う。

答 町長

昨年度は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、深浦町独自の給付金の交付など、漁業経営に対する支援を行った。今後、水揚げ状況や新型コロナウイルス感染症の影響

を注視しながら、必要に応じて支援策等について検討していきたい。

また、漁業者個人には、減収に対応した国の漁業共済制度の加入促進を図るとともに、新型コロナウイルス感染症対策としての農林漁業者を対象とした国の経営継続補助金などの活用を図るなど、漁協と連携した指導に努めていきたい。



▲北金ヶ沢の漁師 古川広志さんの動画配信YouTube「つがるの漁師チャンネル」より

